

令和2年度上越市・妙高市在宅医療・介護連携推進協議会

第1回専門部会（合同部会）を開催しました

「住み慣れた地域で暮らし続けることができる上越地域」を目指していくために、令和2年度から4年度までの3年間、一緒に部会活動を行う委員の皆さんと第1回専門部会（合同部会）を開催しました。

《開催日》令和2年7月31日（金）

《会場》上越市教育プラザ

《出席者》

入退院時連携推進部会：7人

対人援助スキルアップ部会：7人（1人欠）

急変時対応部会：8人

市民啓発部会：5人（2人欠）

上越地域在宅医療推進センター：3人

事務局：17人 計46人（1人重複）

◆合同部会

まず事務局が、7月16日に行われた在宅医療・介護連携推進協議会の報告及び上越地域が目指す在宅医療・介護連携について説明し、その後、上越地域在宅医療推進センターの揚石センター長から「『地域での暮らしを支える』～在宅医療・介護の連携・統合～」と題し、ご講演をいただきました。



◆入退院時連携推進部会

部会長：川瀬主任介護支援専門員
（地域包括支援センター府中会）

副部会長：中島看護師
（上越地域医療センター病院）



○部会の目標は「ケアマネや病院が、ガイドライン・フロー図を理解し、円滑な入退院の支援が実践できるようになる」とし、今年度は既存の連携ツールについて理解を深めるとともに、現場での活用状況や、活用促進のための取組について検討します。

○今回の部会では、それぞれの現場での連携ツールの活用状況や、現時点で課題に感じていること、今後部会で取り組みたいこと等について意見交換を行いました。まずは、昨年までの部会の取組について理解を深めることが必要と確認しました。

第2回部会：10月2日（金）19時～
上越市市民プラザ

◆対人援助スキルアップ部会

部会長：小嶋主任介護支援専門員
（在宅介護支援センター新井愛広苑）

副部会長：小山理学療法士
（上越地域医療センター病院）



○部会の目標は「本人が望む生活を支える医療・ケアが提供され、本人・家族、専門職がともに結果に満足できるようになる」とし、今年度は専門職に求められる基本理念は何か、を意見交換していきます。

○初顔合わせでは、日頃大切にしていることを紹介しあいました。

- ・本人の「思い」やコミュニケーションを大切にする
- ・本人の「幸せ」は何かを考える
- ・信頼関係を築く（信頼される自分である）
- ・具合が悪いときだけでなく、日常の様子を知る
- ・本人・家族に満足感を持ってもらう など

○信頼される専門職になるために、どのようなスキルアップを図っていけばよいかを次回話し合っていきます。

第2回部会：9月14日（月）19時～
福祉交流プラザ

◆急変時対応部会

部会長：竹田主任介護支援専門員
（よねやまの里（居宅））

副部会長：松山看護師
（訪問看護ステーションココロ）



○部会の目標は、「本人・家族・専門職が、急変時の対応の共有ができ、心構えを持てるようになる」としました。

○地域、医療機関、消防局に所属する部会員

のそれぞれの立場から、急変時の対応に関する日々の悩みや思いを共有しました。

○「急変時」の捉え方は立場によって異なるため、関係機関にアンケート調査を行い、どのように対応しているのか、どのようなことに困っているのか、上越地域の実態を把握することから取り組むこととしました。

○今後、MCネットを活用して意見交換を行いながら、次回の部会でアンケートの内容や対象者を決め、年内に調査を実施できるように準備を進めていきます。

第2回部会：9月25日（金）19時～
福祉交流プラザ多目的室

◆市民啓発部会

部会長：吉崎医療ソーシャルワーカー
（上越総合病院地域連携センター）

副部会長：秦主任介護支援専門員
（老人介護支援センターさくら）



○部会の目標は「市民が、思っていることや大切にしたいことを考え、言語化し、家族や専門職と共有できるようになる」とし、今年度は今後の啓発方法の検討や普及啓発スライドの見直しを行っていきこととなりました。

○「何をどのような方法で啓発していくか」「誰をターゲットにするか」「ライフステージに分けて啓発するのがよいか」等、部会員それぞれの専門的な立場も踏まえながら、活発に意見交換を行いました。

○次回は、具体的な啓発方法や啓発していく内容についてそれぞれの意見を持ち寄り、検討していきます。

第2回部会：9月25日（金）19時～
福祉交流プラザ